

# 「人生の扉」

本田 海太郎

寿会の横浜南支部のカラオケ同好会で月 1 回歌っています。  
最近の曲ではないのですが、新しく覚えた曲で「人生の扉」という曲があります。  
竹内まりやが歌っている曲です。  
どんな歌か関心のある方は、You Tube で「人生の扉／竹内まりや」で探せば、聴けるはず  
ですので聴いてみてください。  
また、カラオケに関心がある方もない方にも、ぜひとも歌詞を読んでみていただきたいと  
思います。  
後半に歌詞を添付させていただきましたが、年齢を重ねるほどに、内容が味わい深く、ま  
さに「寿会のテーマソング」ではないかという感じがします。  
それが今回投稿させていただいた理由でもあります。  
20 歳代から 90 歳代を超えるまでの年代の人生の感じ方や想いを語っている内容になって  
いると思います。  
英語の歌詞が入っているのが少し難ですが、何となく言わんとすることが伝わる程度では  
ないかと思いますので、下手な訳はつけずにしました。

## 人生の扉／竹内まりや

春がまた来るたび ひとつ年を重ね  
目に映る景色も 少しずつ変わるよ  
陽気にはしゃいでた 幼い日は遠く  
気がつけば五十路を 越えた私がいる  
信じられない速さで 時は過ぎ去ると 知ってしまったら  
どんな小さなことも 覚えていたいと 心が言ったよ

I say it's fun to be 20  
You say it's great to be 30  
And they say it's lovely to be 40  
But I feel it's nice to be 50

満開の桜や 色づく山の紅葉を  
この先いったい何度 見ることになるだろう  
ひとつひとつ 人生の扉を開けては 感じるその重さ

ひとりひとり 愛する人たちのために 生きてゆきたいよ

I say it's fine to be 60

You say it's alright to be 70

And they say still good to be 80

But I'll maybe live over 90

君のデニムの青が 褪せてゆくほど 味わい増すように

長い旅路の果てに 輝く何かが 誰にでもあるさ

I say it's sad to get weak

You say it's hard to get older

And they say that life has no meaning

But I still believe it's worth living

But I still believe it's worth living